

## 正しくおそれる

皆さんは「天災は忘れたところにやってくる」という言葉を聞いたことがあるでしょう。大きな地震はいつ何時にやってくるかわかりません。もしかしたら、これから5秒後に、この熊谷市に地震が発生するかもしれません。ここ数年のうちに関東地方に大きな地震が発生する確率はとても高いのだそうです。ひとたび、大地震が発生すれば、被害は甚大です。報道等で、地震で建物が崩れ落ちたり、火災で焼け野原になってしまったりする映像を見た人も多いでしょう。もし、自分が地震や火災に遭遇したらと考ただけで、すごくこわくなると思うのです。ただ、必要以上にこわがることはないとも思います。

冒頭の「天災は忘れたところにやってくる」は物理学者の寺田寅彦さんの言葉です。寺田さんは併せて、「正しくおそれる」という言葉も遺しています。

本日は、地震と火災を想定した避難訓練を行いました。「机の下にもぐり、頭をかきすこと」「避難経路でおしゃべりなどをせず避難すること」などが、しっかりできたでしょうか。今回の避難訓練は、災害発生時に身を守る基本的な行動や避難経路、避難場所等を確認することが目的でした。地震などの天災がもたらす被害の大きさなどを十分理解した上で、いつ何時やってくるかわからない地震などに対して備えを万全にすること、そして、自分の大切な命を守るためにどのように行動するのかを適切に判断すること、そういうことをまとめて、「正しくおそれる」というのだと考えています。

天災は地震だけではありません。これからの時季、雷が発生して…ということも多くなります。雷を「正しくおそれる」というのは、何を備え、どのように行動をすることなのでしょう。よく考えておく必要があります。本年度は年間3回の避難訓練を計画しています。また、ショート避難訓練も年間を通じて実施する予定です。

「天災は忘れたところにやってくる」「正しくおそれる」この2つのことを忘れずに災害に備える心構えを持つようにしましょう。以上で、講評を終わります。